

在宅医療や介護に関する研修、啓発にあたるファシリテーターの養成研修について

住民参加型の研修・啓発活動を推進するためにファシリテーターを養成し、いろいろな機会（出前講座、研修会、シンポジウム等）を捉えて、参加者同士の話し合いの場を設定し、参加者一人一人が自らの問題として考え、対話し、協働して「高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で身体状況に応じて、自立した日常生活を送ることができる地域づくり」に取り組む。

【背景】(住民啓発ワーキンググループにおける協議概要)

地域の在宅医療・介護連携を推進するためには、医療・介護関係者の連携だけでなく、地域住民が在宅医療や介護について理解し、在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを適切に選択できるようにすることも必要である。

現在、各団体、法人等により、いろいろな形式で普及啓発活動が行われているが、ほとんどが講義形式・講演形式であり、一方通行の啓発活動となっている。

地域住民、医療介護関係者が共に学び、考え、みんなで「高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で身体状況に応じて、自立した日常生活を送ることができる地域づくり」に取り組むためには、ファシリテーションスキルを習得したファシリテーターの関わりが重要となる。

※ファシリテーションとは・・・

- ・「促進する」「助長する」「物事を容易にする」という意味の英語(ファシリテート)の名詞形
- ・人が集まって何かをしようとする時、対話を育み、協働を促進する「参加型の場所づくりの技法」

※ファシリテーターとは・・・

- ・「進行促進役」と訳されるが、ただの司会者や進行役ではなく、そこに関わる一人一人が、自分自身で考え、学び、気づき、創造することを促したり、容易にしたりし、参加者の主体性や当事者意識を育む「支援者」

【ファシリテーター活躍の場】

ファシリテーターが所属する機関、団体等が主催する出前講座、研修会のみならず、東部圏域で開催される各種研修・啓発活動においても、ファシリテーターとして企画・運営に協力する。

【研修概要】

- 1 研修名 : ファシリテーション研修(標準型:2日間コース)
- 2 対象者 : 医療・介護関係者 等 20～30名程度
- 3 場 所 : 東部医師会館 研修室
- 4 時 期 : 平成28年2月～3月(平日の連続した2日間)
- 5 内 容 : 裏面【研修例】参照
- 6 予 算 : 鳥取県予算[医療・介護情報の連携体制構築事業]

【研修例】 ファシリテーション研修(2日間コース)

◆**ねらい**:会議・グループワーク・ワークショップ等をスムーズに運営するための、「場のデザイン(単なる事前準備だけではなく、参加者の意識付けも含む)」、「対人関係(話を引き出す)」、「構造化(様々な意見を収束させる)」、「合意形成(結論を導き出す)」等のスキルを習得します。また演習として、現実により得るテーマを題材にした“擬似”会議を開催し、スキルの応用力を身に付けます。

◆**プログラム案**

内 容	手 法
<p>1. はじめに < 普段の会議(グループワーク等含む)を振り返り、改善すべき点を考える ></p> <p>(1) 自分が関わる会議(グループワーク等含む)の問題とその理由を考える</p> <p>(2) なぜ会議(グループワーク等含む)に不満が残るのか？</p>	<p>講義 個人ワーク</p>
<p>2. ファシリテーションとは？ < 求められる4つのスキルをおさえる ></p> <p>(1) ファシリテーションの目的</p> <p>(2) プロセスに関与する</p> <p>(3) ファシリテーションにおける心構え</p> <p>(4) ファシリテーターに求められる4つのスキル</p> <p>①場のデザインスキル ②対人関係のスキル</p> <p>③構造化のスキル ④合意形成のスキル</p>	<p>講義</p>
<p>3. 場のデザインスキル < 建設的な会議にする環境の整え方を習得する ></p> <p>(1) 目的を明確にする (2) 目標を設定する (3) 進め方(プロセス)を決める</p> <p>(4) ルールを決める (5) 役割分担を決める (6) 空間としての場を決める</p>	<p>講義 個人ワーク グループワーク</p>
<p>4. 対人関係のスキル < 議論を活発にする、話を引き出すスキルを学ぶ ></p> <p>(1) 「傾聴」のスキル</p> <p>(2) 「介入」のスキル(中立的な立場をとる、ルールを活用する)</p> <p>(3) 「観察」のスキル</p> <p>(4) 「質問」のスキル(視点を変える、例示する 等)</p> <p>(5) 「話す」スキル(説明で最も重要なこと、簡潔に話すポイント)</p>	<p>講義 個人ワーク グループワーク</p>
<p>5. 構造化のスキル < 議論のポイントを可視化し方向づけるスキルを習得する ></p> <p>(1) 要点を見つける</p> <p>(2) 関係を見つける(時間軸で整理、対立軸に置き比較、原因と結果の関係に置く)</p>	<p>講義 個人ワーク グループワーク</p>
<p>6. 合意形成スキル < 合意に基づいた結論を導くポイントを習得する ></p> <p>(1) 合意形成における役割</p> <p>(2) コンフリクトマネジメント</p> <p>(3) 意思決定の支援</p> <p>(4) 合意形成支援のポイント</p>	<p>講義 個人ワーク グループワーク</p>
<p>7. ファシリテーション(会議)演習 < 4つのスキルを実践し、体得する ></p>	<p>グループワーク</p>
<p>8. 振り返り < 研修を振り返り、今後の会議に活かすポイントを再確認する ></p>	<p>個人ワーク グループワーク</p>